

セ タガヤ ボ ランティア ネ ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2020.6 No.194

今月のトピック

特集●

水害の備えと 災害ボランティア活動

まちの市民力！ ● いまできること
～おうちですこそうプロジェクト～



イラストレーション ● 関 なつみ

世田谷区在住の、空間デザインを学びに、毎日渋谷に通っている学生。生活感のあるものと、プールの底にうつる模様が好きです。

●わたしの世田谷

友達に、『どこに住んでるの？』と聞かれて『世田谷だよ～』と答えると、決まって皆声を揃えて『いいなあ～！』と言う。私の自慢の街です。

特集

水害の備えと 災害ボランティア活動

昨年10月、台風19号により全国各地で大規模な水害が発生しました。区内でも被害があり、世田谷ボランティア協会では、ボランティアによる復旧支援活動に取り組み、延べ951名のボランティアが参加しました。

「水害」は今後も発生する恐れがあります。今回の水害を教訓として、水害のことを知り、どのように備え、どうやって復旧するかについて、冊子『世田谷区での水害と災害ボランティア活動』を作成しました。内容の一部をご紹介します。



■水害を知って備えること

地球規模の気候変動の影響により、数十年に一度の猛烈な雨を警戒する「大雨特別警報」が発令されたり、想定を超えるような気象現象が年々激しさを増しています。台風や大雨などによる被害が増えるこれからの季節、「水害」を知って備えておくことは、地震の対策と同じくらい身近で重要なことになっています。

都市に潜む「内水氾濫」の危険

水害は河川の氾濫によって起こるだけではありません。降雨が集中し、地中に埋設された排水路（暗きよ）の排水能力を超えたときに、大量の水があふれ出ます。これを「内水氾濫」と言い、窪地や坂の下、道路より低い敷地などに浸水被害が発生します。近年、時間雨量50mmを超える豪雨が増加傾向にあり、水害の危険性が増します。高

まっています。

ハザードマップを読み取る

水害による浸水の可能性を地図上で具体的に知ることができなのが『ハザードマップ』です。区内総合支所やまちづくりセンターなどで配布しています。また区のホームページでも公開しています。ご自宅だけでなく、勤務先や移動経路などで、どのような被害が想定されているのかなど様々な情報を読み取りましょう。

自宅周辺を観察する

自宅の周辺で、道路のわずかな傾斜、側溝や排水路の位置、道路と敷地の高低関係などを確認しましょう。水害の時に氾濫した水がどのように流れ、溜まっていくのか、自宅敷地に流れ込む危険性などをあらかじめ知っておくことが大事です。

水害に備えた防災減災対策チェック！

- ☐ 電化製品や貴重品を高いところに移動する。
- ☐ 雨戸やブラインドを閉める。
- ☐ ガラスが割れた時のために飛散防止のフィルムを貼る。
- ☐ 土のう、水のうを作り、水や土砂の流入しそうな場所に積む。
- ☐ 自動車を高台に移動する。
- ☐ 周辺の側溝や雨水枡を掃除して排水機能を高める。



さらに自宅敷地内の高低差、堀の防水性や強度、排水口や内ますの位置や構造（逆流の可能性）、建物基礎の通気口の位置などを確認しましょう。敷地に流れ込む水がどう動くかを想定しておくことが大事です。

迷わず早めの避難

避難の判断が遅れると、避難経路が冠水により通行できなくなるおそれもあります。早めの行動が重要です。

水害の発生をラジオ、テレビ、SNSなどの気象情報から予測することで、水害に備えた行動を取ることができます。気象情報に注目し、上記のような防災減災対策をとることによって、被害を小さくし、被災後の復旧を早めることにつながります。

★ 天気予報の解説をよく聞き、5日先まで出される台風進路予

報をチェックしましょう。

★ 大雨の時は降水短時間予報や河川水位もチェックしましょう。
★ 多摩川上流域の降雨にも注意しましょう。

■避難前後の注意点

《避難前にするべきこと》

★ ガスのメーターボックスの栓を締める。

★ 電気ブレーカーを落とす。

《自宅に戻るときの注意点》

★ 明るい時間帯に戻りましょう。

★ マンホールや浄化槽のフタが流されて、なくなっている場合があります。足元にも注意。

★ 太陽光発電が落下し、感電する危険があります。

★ 電気系統の安全が確認できるとき、ブレーカーを入れないように注意。

★ 水道水は汚れている場合があるので、しばらく流してから使い

垂直避難（屋内での安全確保）

洪水や大雨などが激しくなり、屋外に出るほうが危険な場合は、自宅や建物の2階以上など、より高い場所へ避難しましょう。



水平避難（立ち退き避難）

避難する際は浸水が浅い経路を利用して指定された避難所や、近隣の高い場所等へ移動しましょう。



ましょう。

★数日して自宅に戻ったときは、カビが発生していることもあるので、ドアと窓を開放して30分以上換気してください。

■復旧作業と災害ボランティア

水や泥をかぶった床や壁は、時間がたつと悪臭やカビが発生します。表面的には見えなくても、住宅が浸水したら、床下に水や泥が入り込んでいないか確認することが必要です。

復旧に向けた作業はできる限り早く行うことが重要です。下の表は、生活再開までの主な復旧作業の流れを示しています。生活再建には、最低でも1か月、長ければ1年以上かかることもあります。

ボランティア支援の重要性

自宅が被災すると、被災者は茫

然自失となりがちです。気を取り直して復旧作業にあたろうとしても、膨大な作業量にたじろいでしまうでしょう。そんなとき、ボランティアの支援があれば本当に助かり、勇気づけられます。災害ボランティアの活動は被災からの復旧に不可欠のものです。

ボランティアは、専門的スキルを必要としない作業であれば、たい

作業時期	作業内容
1週間以内	家屋への動線の確保 濡れた家具や畳の搬出／乾燥と消毒 廃棄する物を集積所へ運搬 出入り口・土間の泥だし
2週間以内	浸水した壁・断熱材はがし 床板を上げ、床下の泥だし、清掃 床板の乾燥・消毒
3週間以内	床板・畳のめとし 家財の搬入 物置・倉庫などの片付け
4週間以内	庭の泥だし 家屋周辺道路の側溝の泥だし



2019 年 10 月の支援活動の様子

■せたがや災害ボランティアセンターの活動

● ボランティアを受け入れる

せたがや災害ボランティアセンターは、世田谷区との協定にもとづいて、世田谷ボランティア協会内に常設されている活動機関です。

震災や水害が発生したときは、すぐにマッチングセンターを開設し、災害ボランティアを受け入れます。被災された方からの要望とマッチングし、災害ボランティアを派遣します。

● 被災者から支援要請を受付る

それには、被災された方から支援要請をいただく必要があります。マッチングセンターでは、被災地域を巡回して、支援要請を呼びかける活動もします。

● 復旧活動についての打合せ

被災された方から支援要請が届くと、一定の知識や支援経験のあるコーディネーターが、原則、現地調査に出向きます。被害の具体的な状況や建物の仕様、被災者の希望などを確認し、どのような作業を進めていくかを被災者と相談しながら決定します。

● ボランティアの活動を支える

支援活動の内容や必要人数などに基づいて、派遣するボランティアと支援活動をマッチングし、オリエンテーションをします。その際、活動先の被害状況、活動内容、活動にあたっての注意事項、ボランティアの安全のための注意事項等を細かく説明します。ボランティアは被災者の心情を思っ、常に丁寧な作業を心がけます。

水害に遭ってしまったら…

自宅に戻ったら、片づける前に被災状況を必ず写真を撮りましょう。罹災証明の取得や保険金請求のために写真が必要となります。

- ★被災状況、特に浸水の高さが分かるように、浸水によってできた跡（線）の脇に人が立っているところを撮影します。
- ★建物の外の状況もいろいろな角度（4方向）から撮影します。
- ★家電製品、キッチン、自動車、物置など、被害を受けた物についてできるだけたくさん撮影します。



●活動結果の確認と継続支援

その日のボランティア活動が終了した後は、活動結果を確認し、復旧までの過程を考え、継続的な支援を検討します。作業が1回では終わらなかつたり、日をおいて次の作業をしなければならぬ場合があります。

こうした計画に基づいて、昨年の水害では災害ボランティアが被災された方の支援活動を行いました。

たくさんの方の災害ボランティアとともに、「災害ボランティアコーディネーター」が活躍しました。このコーディネーターは養成講座を受講し、登録してくださった方々です。

世田谷区での水害と災害ボランティア活動

- 1 世田谷区での水害発生の危険性
- 2 水害を予測した適切な行動
- 3 水害の実態
- 4 水害からの復旧と災害ボランティア活動
- 5 せたがや災害ボランティアセンターの活動



2020年3月発行

©2019 SETAGAYA VOLUNTEER ASSOCIATION

社会福祉法人世田谷ボランティア協会

せたがや災害ボランティアセンター

これらの経験をもとに作成した『世田谷区での水害と災害ボランティア活動』の冊子は、「せたがや災害ボランティアセンター」のホームページからダウンロードすることもできますので、ぜひご覧ください。

せたがや災害ボランティアセンター

🔍 検索



「災害ボランティアコーディネーター養成講座」は、開催日が決まり次第、ホームページ・facebook などでお知らせします。

「いまだできること ～おうちですごそうプロジェクト～」



新型コロナウイルスの影響により、「いつも」の生活ができない期間が長く続いています。その状況のなかでも、「いまだできること」を工夫してきた、ボランティアセンターとご近所ぐるみの取り組みをご紹介します。

.....

■はがきで励ましつながろう

外出できずにひとりで過ごしている方を励まそうと、4月から始めたこの企画。お子さんだけでなく、大人の方からもすてきなハガキがたくさん寄せられました。

地域のあんしんすこやかセンターのご協力のもと、ハガキが高齢の方のお宅へ届けられ、「元気が出たわ!」と喜んでいただきました。(詳しくは10ページをご覧ください)

.....



特設サイトをつくりました
<https://ouchiproject.wixsite.com/hagaki>

■ご近所に「セタボラだより」発行!

ボランティアセンターで毎月実施してきた「しもうまごはん会」。3月以降中止となり、ご近所さんの顔が見られない日々が続きました。調理ボランティアとの話し合いで、少しでもつながりを感じられたらと「セタボラだより」を作成。簡単レシピや川柳を募集し、ご近所に配布しました。

.....

めいっばい
おしゃれしてみて
さあどこへ



笑顔で
みんなと食事
待ち遠しい

■本の交換所

5月、図書館が閉館していた間、ボランティアセンター前で無人の「本の交換所」を始めました。おすすめの一言などのメッセージを添えて、読み終えた本を提供いただき、次の方へと手わたっていくしくみです。毎日毎日少しずつ入れ替わり、誰かの大切な本が誰かのもとへ旅立っていきました。



ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおこなぎする橋渡しをしています。今、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決でき

るかわからないという方は、お電話でご相談ください。

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター（火曜～土曜 9時～17時）
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小・中学生の個別の学習支援に取り組み、ボランティアの紹介を行っています。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・青木
TEL 5712・5101
takai@otagaisana.or.jp

ボランティア求む

小 感覚過敏の女性の家事ボランティア募集

梅雨や台風の時期の気圧変化や夏の日差しにより、めまいや手指の触覚の過敏さといった形で体に不調が出てしまう20代女性が、体調が悪いときに簡単な家事をしてくださる方を求めています。近所での買い物、ゴミ出し、食器洗い、簡単な掃除機がけなどをお願いしたいです。詳細はお問い合わせください。

●日時／不定期（事前にメール等で日時を相談、多くても週1～2回、1～2時間程度）
●場所／自宅（下北沢近辺）
●条件／女性限定。交通費支給上限あり
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
電話 3707・3528
tanabara@otagaisana.or.jp

有償スタッフ募集

小 脳性まひの60代女性の介助者募集

日常の家事援助と身体介護、また一緒に外出したり食事をしてくださる方を募集しています。ヘルパー2級・初任者研修資格者希望で女性の方に限ります（ヘルパー資格のない方は重度訪問介護従業者研修資格があれば大丈夫、それ以外の方は応相談）。詳細はお電話にてお問い合わせ下さい。よろしく願います。

●日時／水曜日9時～18時（時間応相談）
●場所／自宅
●交通／千歳船橋駅徒歩5分
●募集人数／数人
●条件／時給1500円、交通費実費支給、女性に限る
●問合せ／相馬、岡村
090・1843・6481

有償スタッフ募集

東 難病の方の通勤サポート有償スタッフ募集

関節の炎症のため1人での歩行が難しい女性教員が、通勤サポート(車の運転および歩行時に荷物を持つ。片道40分程度)と、仕事場と自宅でのPC作業(メールチェック等。PCはMAC)を手伝ってくださる方を探しています。

また、犬の世話をお願いすることがあります。おとなしく眠っていることが多いので、お世話はほぼ不要ですが、見守りをお願いします。通勤にはご本人の車を使用し、道に慣れるまではご本人が片道を運転することが可能です。複数

数名でサポートしていますが、一人が今後活動できなくなるため、新たに募集しています。

●日時/毎週水曜日10時半〜18時半
●場所/自宅(上野毛)と職場
●募集人数/1名
●条件/1回(8.5時間の場合)8160円(10200円/時)
集合場所までの交通費別途支給
女性希望、年齢不問
●問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tanabora@otagaiana.or.jp

講座・その他・募集

NPO・市民活動相談 ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。

グループの運営に悩んでいる、助成金情報を知りたい、NPOって何? など、いろいろなご相談(月曜・祝日休館)
TEL 5712・5101

講座・その他・募集

東小 会議室利用中止(延長)のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアセンター、ボランティアビューローの会議室の利用を休止させていただきます。ご不便をおかけしますが、よろしく願います。

なお、会議室利用再開時には感染防止対策を行い、利用人数等に制限を設け、段階的に利用再開します。(※状況により期間を変更する場合があります)

①ボランティアセンター
火曜日〜土曜日 9時〜17時
※日曜日・月曜日・祝日は休館

②ボランティアビューロー
月曜日〜土曜日 10時〜17時
※日曜日・祝日は休館

小 碓ボランティアビューロー準備室開設

2020年6月、ボランティア活動に関する相談窓口として、新たに「碓ボランティアビューロー準備室」を開設します。

「ボランティアしたい」ときや、「だれかの手助けが欲しい」ときに相談ができます。ボランティアグループの運営相談や、ボランティア関連の情報提供も行います。※会議室スペースはありません。

●会議室利用中止の期間/6月15日(月)まで
●電話による相談受付時間/ボランティアセンター
①火曜日〜土曜日 9時〜17時
※日曜日・月曜日・祝日は休館
②ボランティアビューロー
月曜日〜土曜日 10時〜17時
※日曜日・祝日は休館
●問合せ/世田谷ボランティア協会
TEL 5712・5101
https://www.otagaiana.or.jp/

ハガキで励ましつながらう！
おうちですこすこプロジェクト

新型コロナウイルスの影響で、出かけられない方が増えています。このプロジェクトは、いろいろな人にハガキを書いてもらい、それを高齢者の方たちに届けることで、元気もお届けするプロジェクトです。ぜひご協力ください。

6月末日までの予定ですが、7月以降も継続する地域もあります。詳しくは当協会のホームページをご覧ください。

●ハガキの書き方／
ハガキサイズの紙に、好きな絵やをかいてください。（画用紙でもOK）

●もらった人がうれしくなるような言葉をおくりましょう。
封筒に入れず、切手も貼らず、そのままお持ちください。

●自分の住所・電話番号は書かないでください。

●ハガキの送り方／

ボランティアセンターまたは下記のアんしんすこやかセンターの専用ボックスに入れてください。あんしんすこやかセンターが高齢者の方に届けてくれます。

《BOXが置いてある場所》

- ・世田谷ボランティアセンター
（火曜～土曜 9時～17時）
- ・池尻あんしんすこやかセンター
（池尻まちづくりセンター内）
- ・下馬あんしんすこやかセンター
（下馬複合施設内）
- ・太子堂あんしんすこやかセンター
（太子堂複合施設2階）
- ・上町あんしんすこやかセンター
（上町まちづくりセンター2階）
- ・経堂あんしんすこやかセンター
（経堂出張所内）
- ・梅丘あんしんすこやかセンター
（梅丘複合施設内）
- ・二子玉川あんしんすこやかセンター
（二子玉川複合施設2階）
- ・喜多見あんしんすこやかセンター
（喜多見複合施設内）
- ・砧あんしんすこやかセンター
（砧まちづくりセンター内）
- ※月曜～土曜 8時30分～17時
- ※感染を防ぐため、複数人での来所は避けてください。
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712-5101

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い
子どもをささえる活動をささえてください

①寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どものための電話です。電話を受けるのは研修をうけたボランティアです。

通常はバザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、新型コロナウイルスの影響によるイベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動をささえるために、寄付のご協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。
●口座番号／
00150・8・279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は、所得税の寄付金控除となります。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

5月開始を予定していた「第25期受け手養成講座」は、新型コロナウイルスの影響で延期となりました。講座の内容をまとめた講義集「子どもに育ててもらったおとなたち」をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。これから受け手養成講座を受けてみたいと思っている方や、子どものかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●内容／1冊1000円（税込）。お支払いは後日お振込みとなります。（別途送料）

●注文方法／郵送ご希望の方は、「お名前・送付先ご住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン事務局
TEL 5712-5101

childline@otagaisama.or.jp

小 ボランティア拠点の非常勤職員募集

世田谷ボランティア協会が運営する、地域のボランティア拠点で有給スタッフを募集しています。

詳細はホームページをご覧ください。

●内容／ボランティア活動の推進にかかわる相談業務、諸事業の企画・実施、一般事務、施設の管理、バザーの企画・運営ほか

●勤務地／世田谷区内のボランティアビューロー

●交通／小田急線沿線

●勤務日／月曜～土曜日のうち、週3～4日程度（月2回程度土曜日の出勤あり）

●勤務時間／9時55分～17時10分

せたがやこどもフードパントリー 寄付・支援のお願い

「せたがやこどもフードパントリー」は、新型コロナウイルスの影響で食事に困っているご家庭の子どもたちに食料を無償で提供する活動です。現在、お弁当購入の資金や食料が不足しています。ご寄付や「アマゾンほしいものリスト」を利用した食料提供にご協力をお願いします。子どもの育ちを『食』を通じて支えてください。

●雇用期間／5月以降～2021年3月末日（勤務開始日応相談。年度ごと契約、更新あり）

●待遇／時給1070円（交通実費支給、雇用保険あり）

●応募方法／履歴書（写真貼付）、作文「応募の動機」（400字程度）を提出。

●選考方法／書類及び面接

●応募締切／適任者が見つかり次第締切。応募の前にお電話でお問合せください。

●問合せ／世田谷ボランティア協会
TEL 5712・5101
<https://www.otagaishana.or.jp/>

●振込先／楽天銀行第二営業支店2522普通7903150

セタガヤコンダテネット

※振込名義人のお名前の頭に「パントリー」と入力ください。

●問合せ／せたがやこどもフードパントリー実行委員会

<https://www.wikitazawaok.com/foodsetagaya/>
foodsetagaya@gmail.com

助成金情報

2020年草の根育成助成

公益財団法人草の根事業育成財団は、様々な社会問題を解決する諸団体と協働し、子どもから高齢者まで市民一人ひとりが心豊かな市民生活を実現するために助成をする財団法人です。助成対象事業等、詳細はホームページをご覧ください。

●対象／都内に拠点を有する非営利の法人（NPO法人、社団法人、財団法人等）及び任意団体

●対象となる助成期間／2020

年4月1日から2021年3月31日

●申請受付期間／6月1日～6月13日（消印有効、メール必着）

●助成額／1事業あたり100万円を上限

●問合せ／公益財団法人草の根事業育成財団事務局
042・427・4278
<http://www.kusanonekusei.nev>

NPO基盤強化資金助成 「住民参加型福祉活動資金助成」

公益財団法人SOMPO福祉財団による「住民参加型福祉活動資金助成」では、地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって、包括的な支援を行います。コロナウイルス感染拡大防止に伴う支援活動（学校閉鎖における子ども支援等）も対象となります。

●対象／5人以上で活動する営利を目的としない団体（法人格の有無は問いません。ただし社会福祉法人は除く）

●申込締め切り／6月19日17時

●助成金／1団体30万円を上限

●問合せ／公益財団法人SOMPO福祉財団
TEL 3349・9570
<https://www.sompo-wf.org/>

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 6月22日開所予定

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 砧ビル1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 砧ビル2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 砧ビル2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った！」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13 砧ビル2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ！ 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ！

◆センター&ビューローより

ついに、「砧ボランティアビューロー準備室」が開設します！ 小さな準備室ですが、ここから新たな関係づくりを始めたいと思います。砧地域の方、ぜひお立ち寄りください。

◆ふらっと& withより

5月もコロナウィルスのニュースで溢れたひと月でした。気づけば街中では花々の香りも移り変わっています。そろそろ紫陽花がきれいに咲くころ、早く利用者みなさんと一緒に楽しみたいものです。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます！世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です！

◆チャイルドラインより

学校のこと、おうちのこと、口に出せないでいるもやもやもチャイルドラインで話してもらえたらいいな。つながりにくいかもしれませんが、お話したいことがあるときは0120-99-7777に電話してみてくださいね。

編集後記

■この数年を振り返っただけでも、大規模な水害が多発しています。去年の巨大台風の猛威や、猛烈な風雨に怯えて眠れぬ夜を過ごしたことを思い出しました。何事も備えは早めに。

■先日大学の授業協力で、初めてオンライン授業をさせていただきました。カメラ越しでの講義は少し緊張しましたが、新たな事業の可能性を感じた経験でした。(み)

■最近、行ったことのないお店のテイクアウトでランチタイムを楽しんでいます。(こ)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

